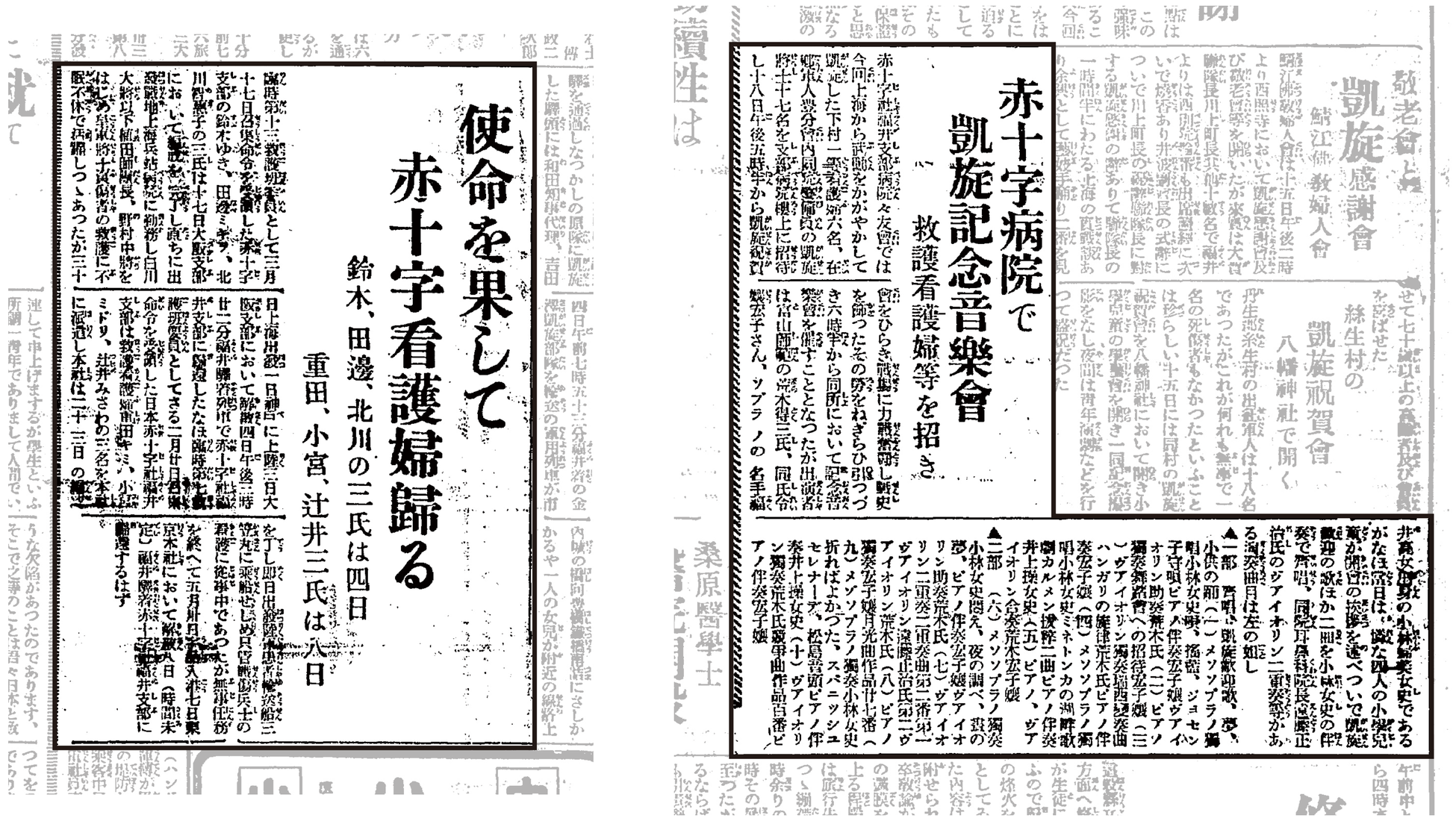
昭和7年(1932年)

戦時中の救護活動

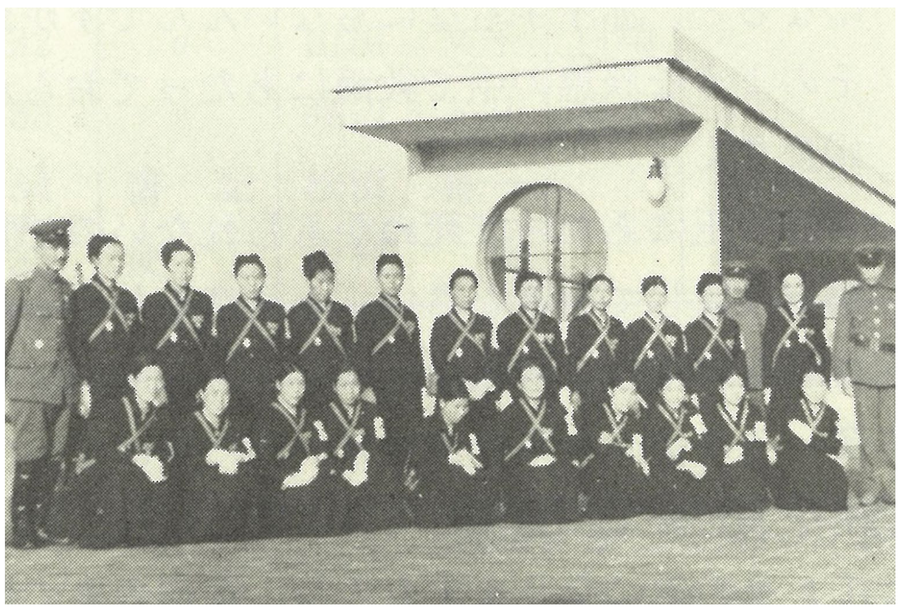
～国内外に救護員を派遣～



赤十字病院で凱旋記念音楽會
救護看護婦等を招き

使命を果して
赤十字看護婦歸る
鈴木、田邊、北川の三氏は四日
重田、小宮、辻井三氏は八日

無事に任務を終了した救護員の帰還を記念し、凱旋音楽会が開催された



▲病院のサナトリウム棟の屋上での救護員出発式

▲日本軍の病院船や、現地の病院で看護にあたった

日本赤十字社は戦前も第2次世界大戦終結後に軍からの召集が解除されるまで戦時救護の活動を行いました。終戦後も各地の引揚船、引揚援護局、検疫所、国立病院などに救護員を派遣しました。

福井赤十字病院においても、昭和7年(1932)の第1次上海事変や昭和12年(1937)の日中戦争に救護員を派遣。昭和21年(1946)9月に召集が解除されるまで派遣を続けました。また、戦後の引揚者の救護派遣にも救護員を派遣しました。

昭和7年の出来事

- 満洲国が建国される
- 五・一五事件で、犬養毅首相が殺害される
- リットン調査団の報告書が公表される
- 第1回東京優駿(日本ダービー)が開催される

100th ANNIVERSARY 1925 2025
福井赤十字病院